

# 2017年3月期 IR資料

いい暮らし、いいあした。

***Axial***  
RETAILING

# ご説明する内容

1. 業績の概要
2. 経営の体系
3. 近年の取り組み事項
4. 今期の業績予想

# 1. 業績概要

(単位:百万円)

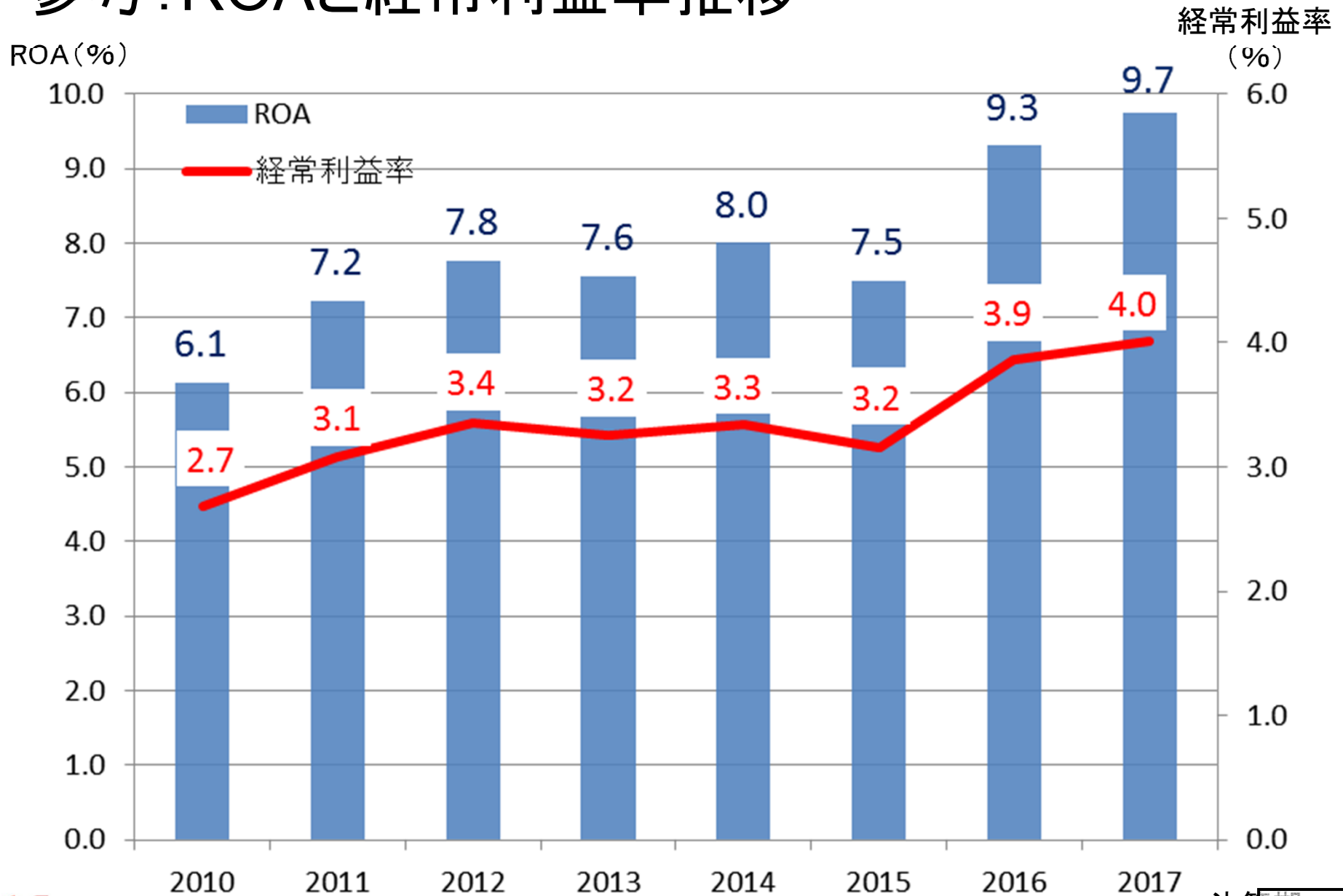
項目	2016/3期	2017/3期	増減率	備考
売上高	223,709	228,899	+2.3%	新店、既存店堅調、 野菜高値、惣菜好調
(既存店伸率)	(+2.3%)	(+0.4%)		
売上総利益	61,344 (27.4%)	62,814 (27.4%)	+2.4%	
販管費	52,800 (23.6%)	53,761 (23.4%)	+1.8%	統合効果、光熱費減少 新物流センター新設コスト吸収
営業利益	8,543	9,053	+6.0%	予想87億円
経常利益	8,634 (3.9%)	9,185 (4.0%)	+6.4%	予想87億円
当期純利益	4,664	5,784	+24.0%	予想50億円
1株当り配当	58	68	+10	予想64+記念配当4
ROA	9.3%	9.7%	+0.4%	経常利益/総資産(平均)
開店店舗数	3	4	新店:F元総社蒼海(前橋市)H花園(長岡市) H七日町(長岡市)N高田西(上越市) 閉店:F大友(前橋市)N大島(長岡市)H西城	
閉店店舗数	0	3		

# 参考：グループ別の業績推移

(単位：百万円、増減率は%)

	原信・ナルス				フレッセイ			
	'15/3	'16/3	2017/3	増減率	'15/3	'16/3	2017/3	増減率
売上高	143,446	152,904	156,370	+2.3	69,472	71,411	73,034	+2.3
(既存店伸率)	+0.3%	+3.0%	+0.9%		△0.7%	+1.0%	△0.5%	
売上総利益	38,883 (27.1%)	41,682 (27.3%)	42,852 (27.4%)	+2.8	18,947 (27.3%)	19,708 (27.6%)	20,083 (27.5%)	+1.9
営業利益	5,017 (3.5%)	6,515 (4.3%)	7,132 (4.6%)	+9.5	1,626 (2.3%)	1,955 (2.7%)	1,868 (2.6%)	△4.5
経常利益	5,112 (3.6%)	6,585 (4.3%)	7,226 (4.6%)	+9.7	1,606 (2.3%)	1,943 (2.7%)	1,886 (2.6%)	△3.0
当期純利益	2,960 (2.1%)	3,571 (2.3%)	4,844 (3.1%)	+35.7	361 (0.5%)	1,119 (1.6%)	964 (1.3%)	△13.8 4

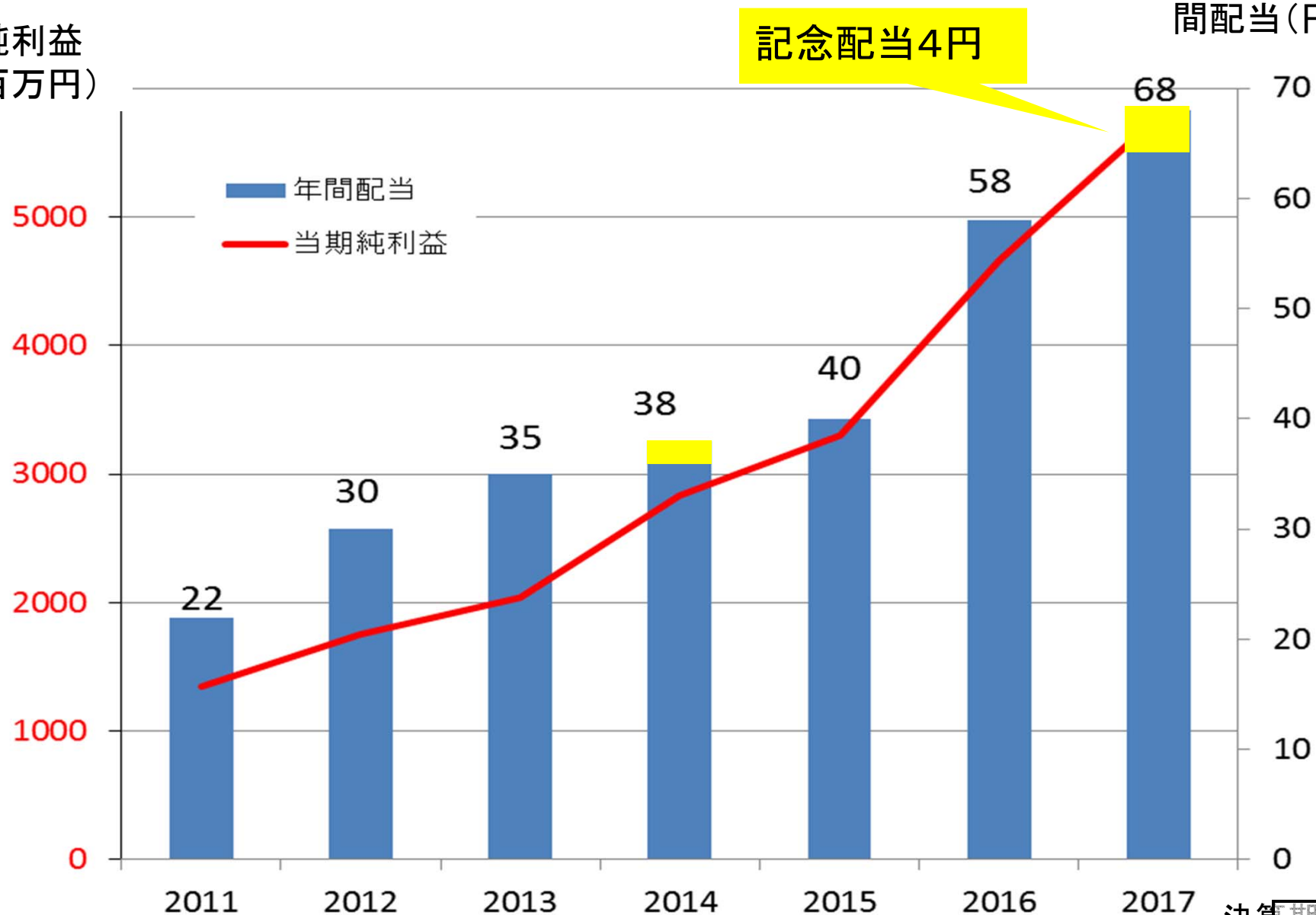
# 参考：ROAと経常利益率推移



# 配当推移

1株当たり年  
間配当(円)

純利益  
(百万円)



記念配当4円

# 前期新店

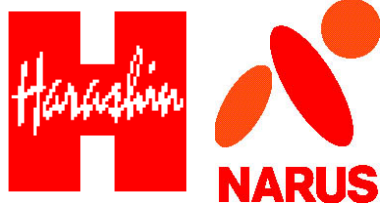


# 前期改装





# 店舗配置の状況



店舗数 77店  
売上高 1,563億

新潟県  
70店舗

富山県  
2店舗

長野県  
5店舗

群馬県  
46店舗

埼玉県  
3店舗

栃木県  
2店舗



店舗数 51店  
売上高 730億

# 食品スーパー売上高ランキング(公開企業)

(単位:百万円)

1	東京	U.S.M.H	684,806	14	山口	リテールパートナーズ	142,952
2	東京	ライフコーポレーション	652,974	15	北海道	マックスバリュ北海道	123,204
3	岐阜	バロー HD	520,530	16	兵庫	関西スーパーマーケット	120,673
4	北海道	アークス	512,645	17	東京	エコス	114,764
5	埼玉	ヤオコー	343,061	18	岡山	ハローズ	114,759
6	広島	マックスバリュ西日本	278,287	19	山形	ヤマザワ	114,111
7	和歌山	オークワ	268,427	20	秋田	マックスバリュ東北	106,395
8	東京	いなげや	258,128	21	愛知	アオキスーパー	105,954
9	新潟	<b>アクシアル リテイリング</b>	228,899	22	愛知	ヤマナカ	99,871
10	静岡	マックスバリュ東海	224,682	23	東京	東武ストア	83,907
11	埼玉	ベルク	193,566	24	富山	アルビス	77,891
12	愛知	マックスバリュ中部	177,396	25	北海道	北雄ラッキー	43,080
13	福岡	マックスバリュ九州	170,353	26	香川	マルヨシセンター	41,713

# 食品スーパー経常利益ランキング(公開企業)

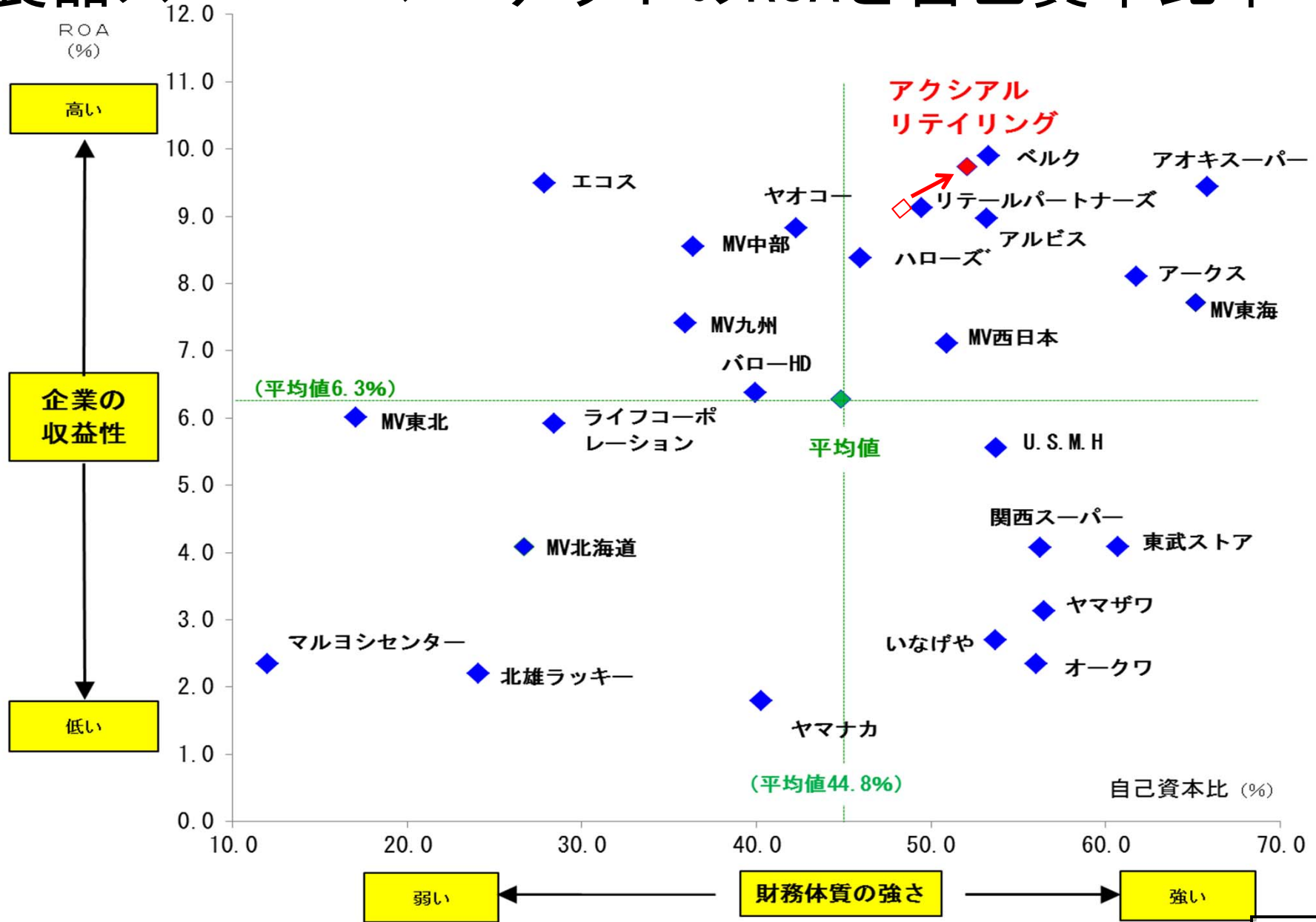
経常利益高 ランキング (百万円)

経常利益率 ランキング (%)

1	岐阜	バロー HD	16,762
2	北海道	アークス	16,471
3	埼玉	ヤオコー	14,214
4	東京	U.S.M.H	14,185
5	東京	ライフコーポレーション	12,834
6	埼玉	ベルク	9,562
7	新潟	アクシアル リテイリング	9,185
8	広島	マックスバリュ西日本	6,687
9	静岡	マックスバリュ東海	5,392
10	山口	リテールパートナーズ	4,975
11	岡山	ハローズ	4,523
12	愛知	マックスバリュ中部	4,150
13	東京	エコス	3,528

1	埼玉	ベルク	4.9
2	埼玉	ヤオコー	4.1
3	富山	アルビス	4.0
3	新潟	アクシアル リテイリング	4.0
5	岡山	ハローズ	3.9
6	山口	リテールパートナーズ	3.4
7	北海道	アークス	3.2
7	岐阜	バロー HD	3.2
9	東京	エコス	3.0
10	愛知	アオキスーパー	2.4
10	広島	マックスバリュ西日本	2.4
12	静岡	マックスバリュ東海	2.3
12	愛知	マックスバリュ中部	2.3

# 食品スーパーマーケットのROAと自己資本比率



Credit Express  
当該業務に  
信用格付は、  
は、信用リス  
つき独自の  
は、原則として

# 従来の格付 BBB+

業務)です。  
し。また、R&I  
の正確性に  
信用格付

- 注1 「発行体名称」は、最新格付の公表日時点の名称を掲載
- 注2 「発行体格付」欄は、「公表日付」が2001年10月1日以降は、発行体格付（2005年3月13日までの名称は「長期優先債務格付け」）を掲載し、「公表日付」が2001年9月30日以前は、回収順位が最上位の長期債務の格付を掲載
- 注3 「格付」は、外貨建と自国通貨建がある場合、外貨建を掲載
- 注4 「格付」の空欄は、その「公表日付」欄の日から格付の公表をしなくなったことを示す
- 注5 「格付アクション」は、2011年11月1日より掲載

発行体名称

アクシアル リテイリング(証券コード: 8255)

発行体

公表

# 2016年12月12日

# A-へ格上げ

1998  
1999  
2002  
2004  
2006  
2006  
2007  
20080220  
20090204  
20100428  
20110803  
20120904  
20131001  
20141117  
20151127

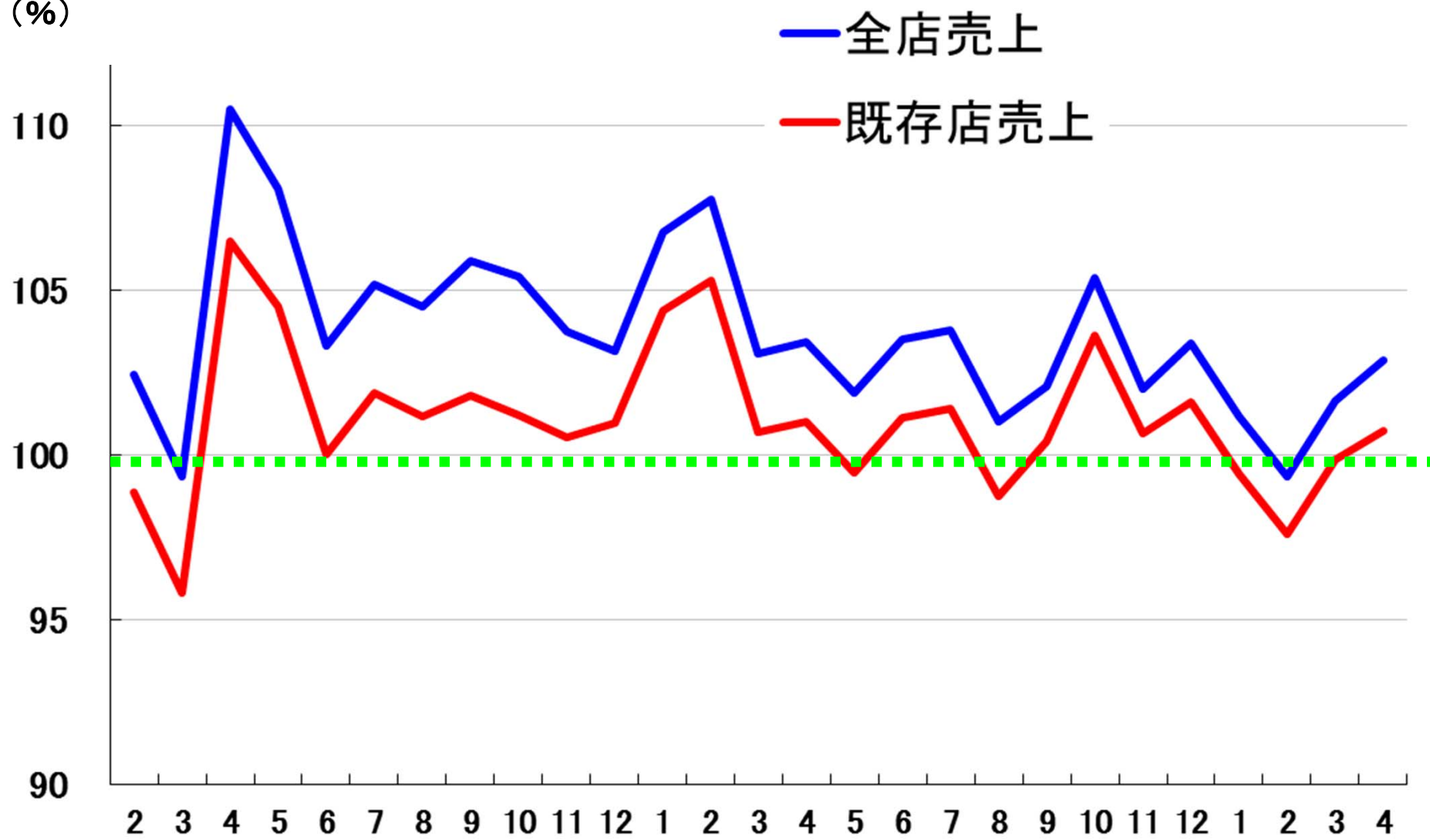
BBB  
BBB  
BBB+  
BBB+  
BBB+  
BBB+  
BBB+  
BBB+  
BBB+

安定的  
安定的  
安定的  
安定的  
安定的  
安定的  
安定的  
ポジティブ

格付維持  
格付維持  
格付維持  
格付維持/方向性変更

# 売上高前年比の動向

前年比  
(%)



## 2. 経営の体系

いい暮らし、いいあした。

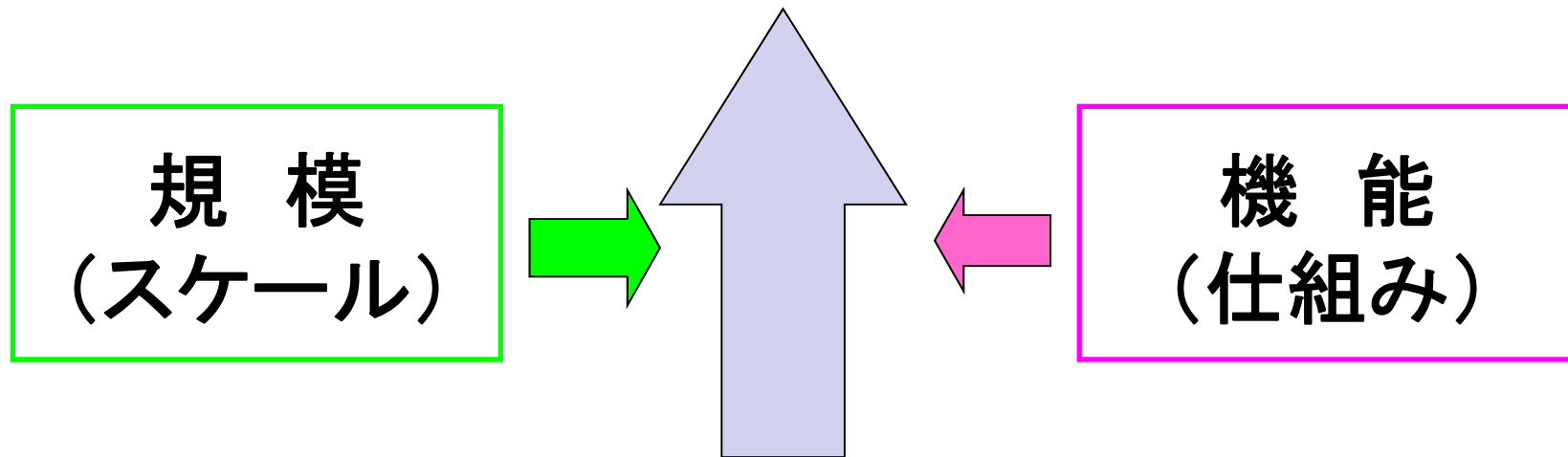
**Axial**  
RETAILING

### グループ経営理念

我々は  
毎日の生活に必要な品を  
廉価で販売し、  
より豊かな文化生活の実現に  
寄与することを目的とする。

# 経営理念の実現

お客様へチェーンストアの  
「ご利益」を提供する



人材: 基盤はTQM



## グループビジョン

# Advanced Regional Chain

アドバンスト リージョナル チェーン

### TQMによる実現主要項目

I 日本一のサービス

II SSM200店舗

III 信頼構築

企業風土づくり

1. 生涯設計
2. 企業市民
3. 安定経営
4. 公正取引

# 中期経営計画(2017~2019)

## 1. 出店政策

- ・地域を絞って集中的に出店する戦略の深耕
- ・一定のスクラップ&ビルド、改装の実施

## 2. 商品政策～原信ナルス、フレッセイ、それぞれの進化

- ・PBなど共有化の推進
- ・ESLPの推進

## 3. 店舗オペレーション

- ・LSP、ウィークリーマネジメントの推進、軌道化
- ・自動発注の精度向上 ・セルフレジの拡大

## 4. 物流全体最適

- ・加工工場機能の拡充(PC・コミッサリー新設等)
- ・グループでの全体最適 ・前橋センターの軌道化

# 中期経営計画(2017~2019)

## 数値目標

	2017年度	2018年度	2019年度
売上高	2,317億	2,372億	2,460億
経常利益率	4.1%	4.1%	4.1%
開店	3	6	6
閉店	1	4	0
期末店舗数	130店舗	132店舗	138店舗
設備投資額	44億	74億	59億

# グループ経営のイメージ

アプリ = サービス、商品、地域性

OS = 規模、機能

経営理念 + TQMの共有

# グループ経営の考え方

A社



B社



<個性>

・ブランドや販社 ・スタイル ・サービス

<連携と共有>

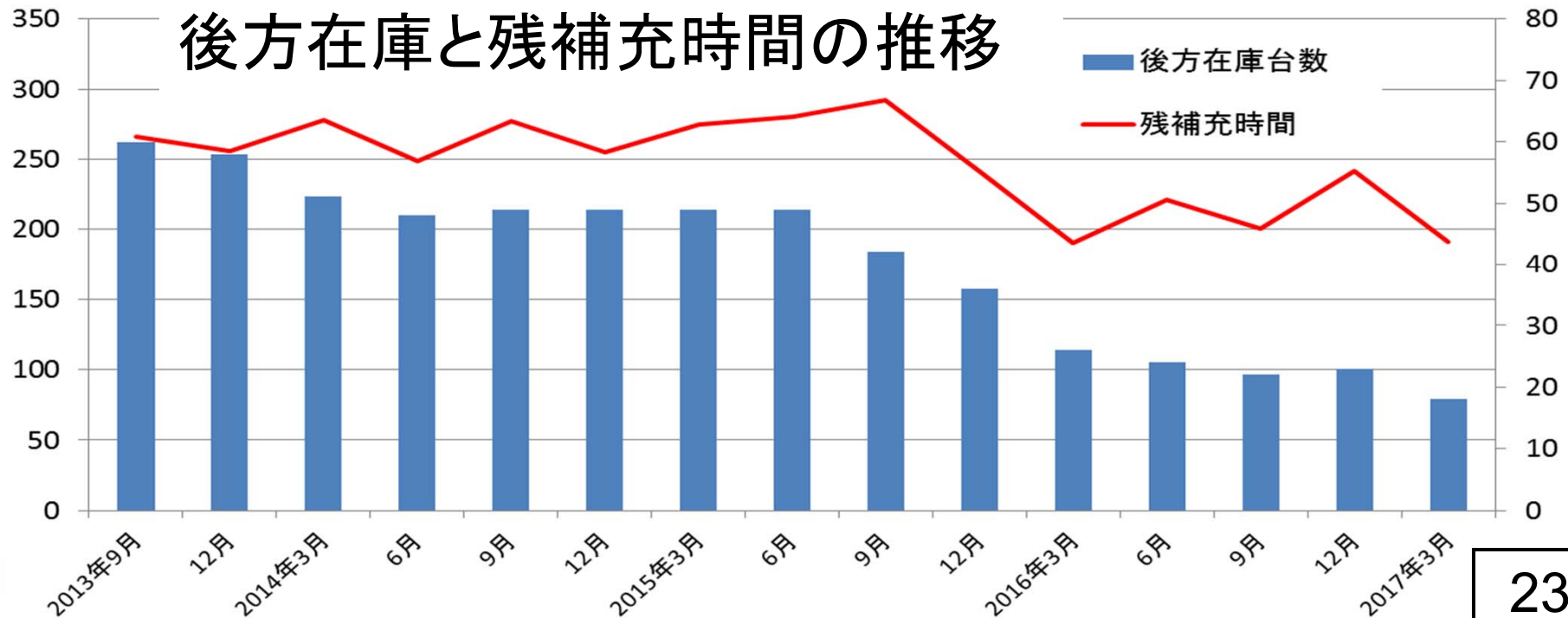
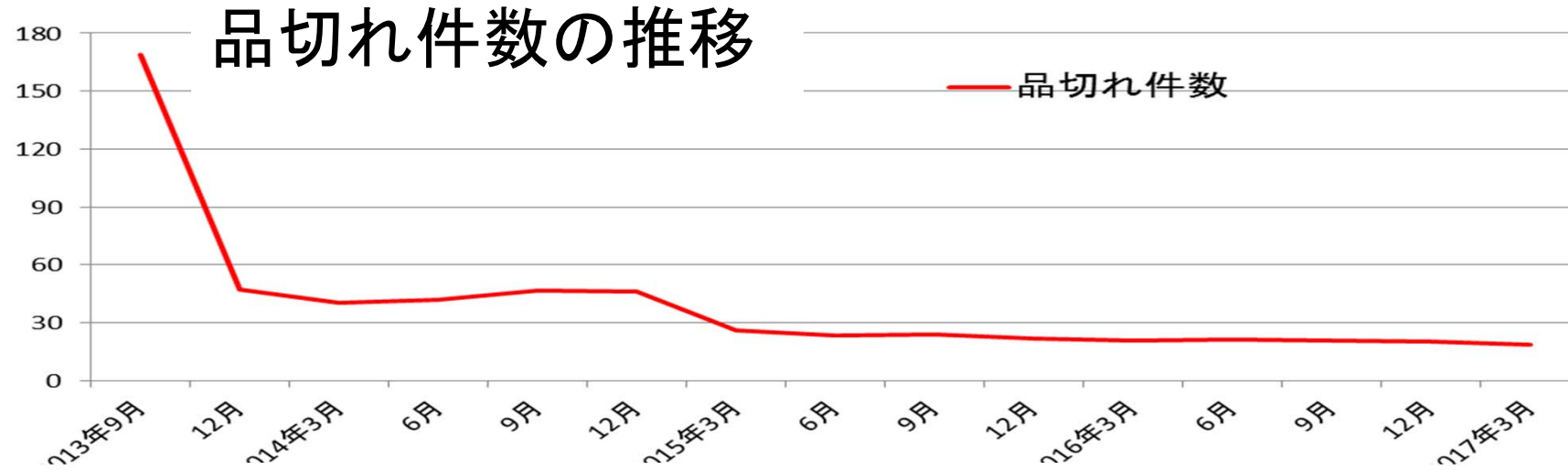
・車台や部品 ・生産工場 ・研究機関 など

規模や機能を活かして、スケールメリットを出す  
ITや物流システムなどは統一してゆく

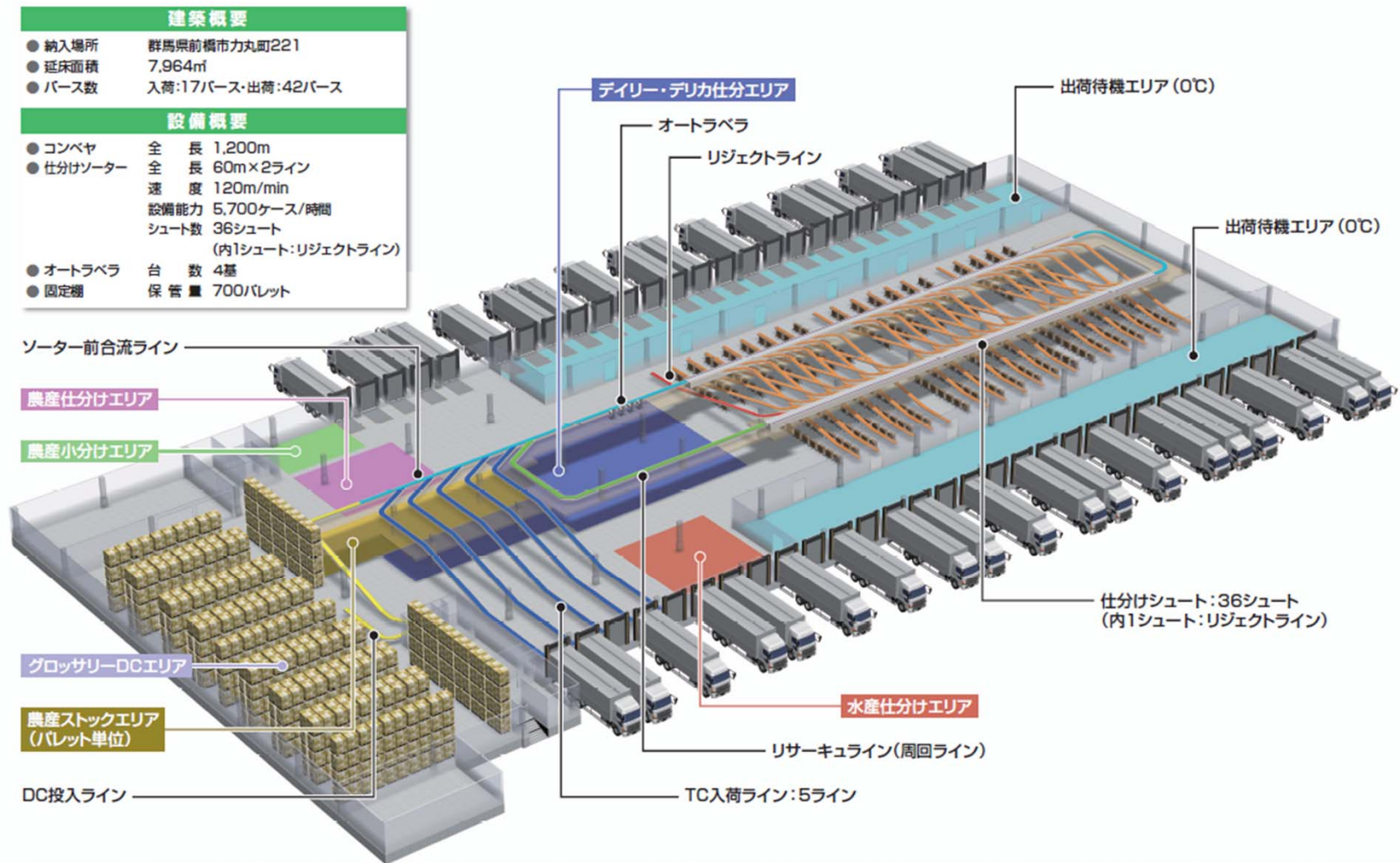
# 3. 近年の取り組み ロジスティクス整備



# 原信ナルスDCの効果



# フレッセイ前橋物流センター





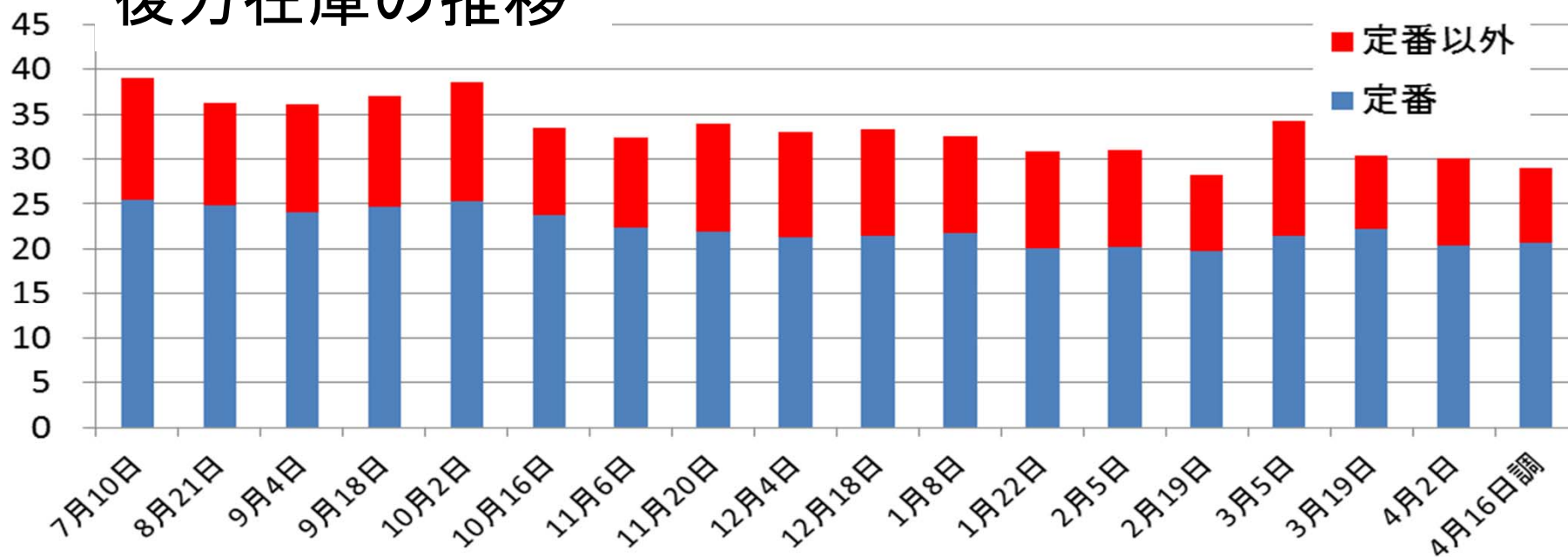
# フレッセイ前橋物流センターの期待効果

1. 店舗作業の効率化
2. コールドチェーン(温度管理)の改善
3. 毎日納品、新自動発注(品切削減、適正在庫)
4. グループ間 商流・物流の円滑化  
グループマスマリットの追求

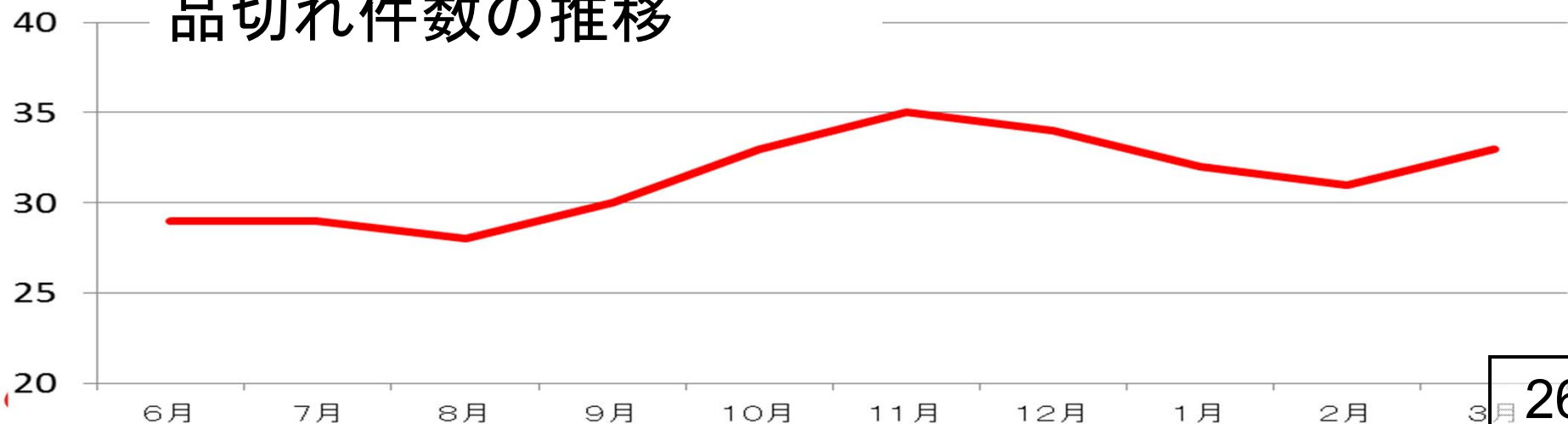


# フレッセイでの改善効果

## 後方在庫の推移



## 品切れ件数の推移



# 原信ナルス ニューコンセプトⅡ+



NCニューコンセプト

- 2001年 豊栄店 オープン
- 品質の強化と低価格への対応
- 提案型売場への挑戦

毎日の食生活に豊かさ、楽しさ、便利さをご提案する



NCⅡ

2010年 美沢店 オープン

1)新しいMD

①普段使い ②独自の提案 ③名物

2)あか抜けた売場

3)生産性向上



NCⅡ+

2015年

セントラルマーケット川崎店

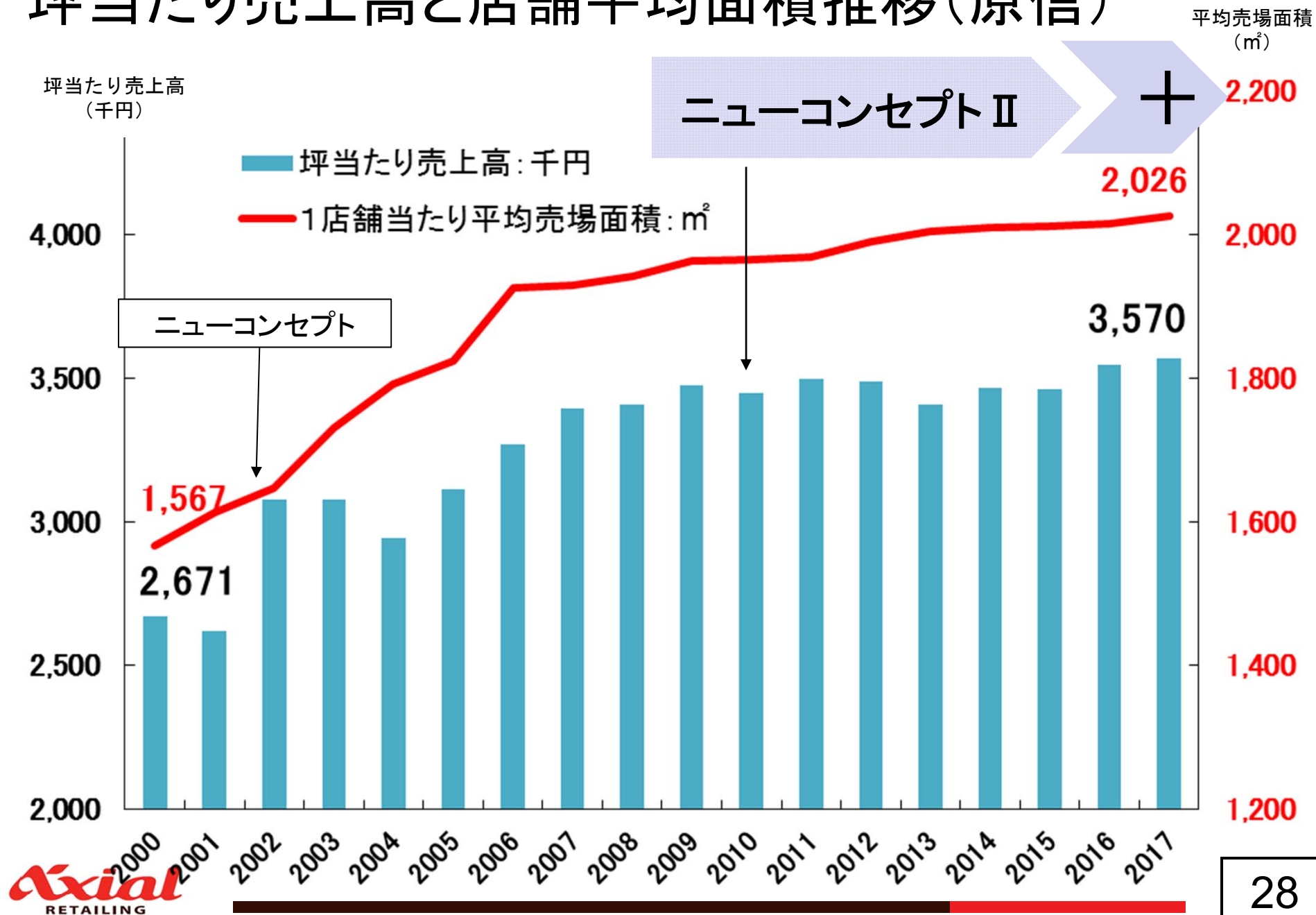
1)新しいライフスタイル提案

健康・時短ニーズへのさらなる対応

2)部門の枠を超えた食シーン連動

(サラダ、魚菜、ミートデリ)

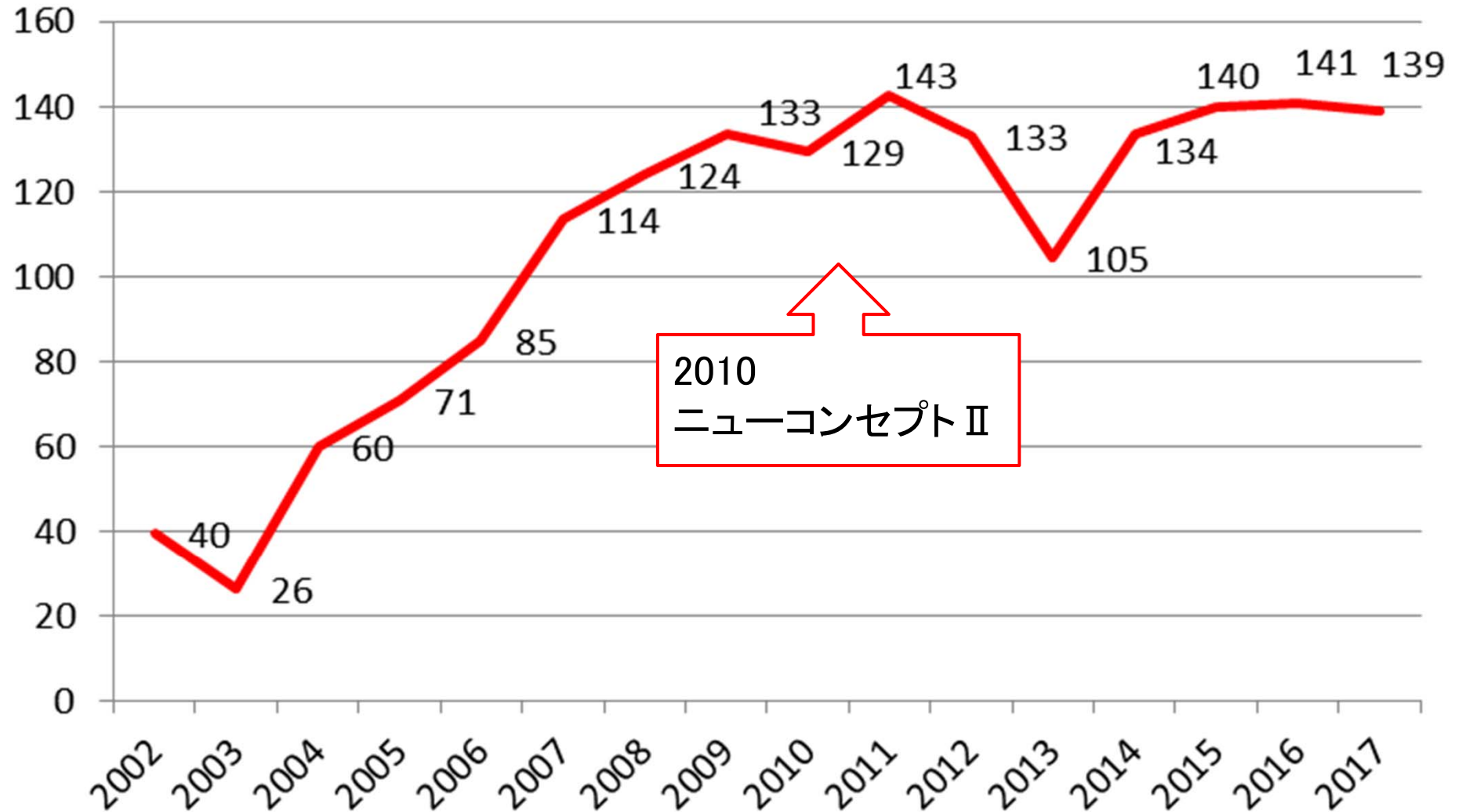
# 坪当たり売上高と店舗平均面積推移(原信)



# 改装店舗の「坪当たり営業利益高」推移

(原信ナルス)

(千円)



# ニューコンセプトⅡ+

- ①時短ニーズの高まりへの対応
- ②「食卓シーン」へ売り場のくくりの変更

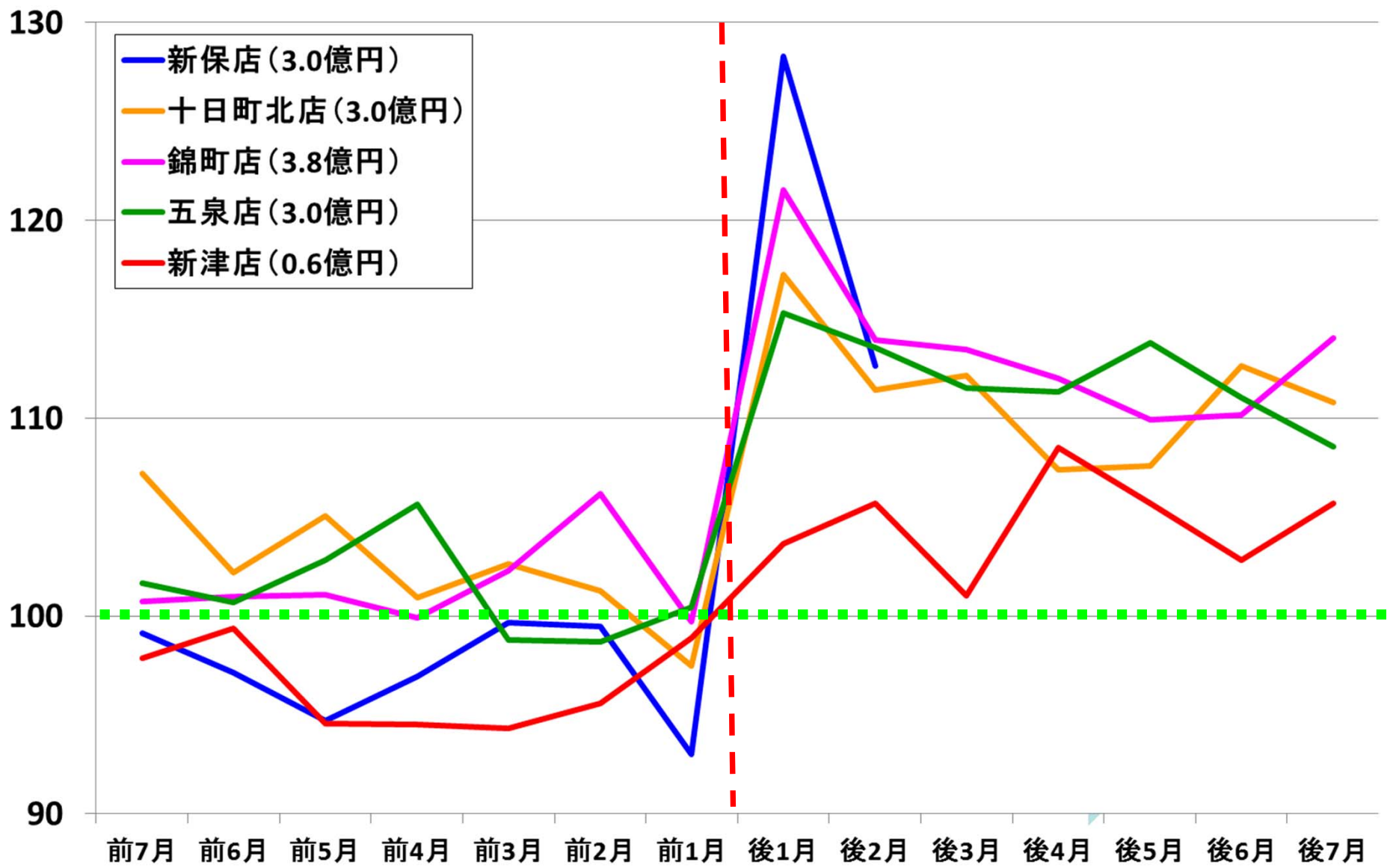
365 x 3  
salad life



実験結果を

新店：花園店、七日町店、N高田西店  
改装：五泉、錦町、新津、十日町北、新保

# ニューコンセプトⅡ + 改装店舗の売上推移





# かつ重

だし香る

「だし」で塩味をおさえ、  
うまみを引き出しました。

おいしいわけ

- ◆かつおの一番だし使用 ◆旨味成分たっぷりの地養卵使用
- ◆カツ鍋をつかって一つずつ手作り

# だし香る

「だし」で塩味をおさえ、  
うまみを引き出しました。



# ひじき煮

だし香る

「だし」で塩味をおさえ、  
うまみを引き出しました。

おいしいわけ

- ◆「熟成カツオ厚削り」1番だし使用。  
そこへ椎茸、鶏だし、あごだしを加えじっくり炊き上げ。



おいしさは  
だしのちから



# 4. 今期業績予想

(金額単位:百万円)

項目	連結	増減率	グループ別の目安			
			HN	増減率	F	増減率
売上高	231,000	+0.9%	157,591	+0.8%	74,059	+1.4%
営業利益	9,300	+2.7%	7,269	+1.9%	1,968	+5.4%
経常利益	9,300	+1.2%	7,317	+1.3%	1,920	+1.8%
純利益	5,800	+0.3%	5,066	+4.5%	1,262	+30.8%
開店	3		2		1	
1株当配当	68円	—	* 設備投資計画額60億、減価償却費41億			

予測前提	2017年3月期 実績			2018年3月期 予想		
	(上期)	(下期)	(通期)	(上期)	(下期)	(通期)
全店	+2.6%	+2.2%	+2.4%	+1.2%	+1.4%	+1.3%
既存店	+0.4%	+0.5%	+0.4%	△0.6%	△0.4%	△0.5%
1品単価100 点数100.3 → 客単価100.3						



いい暮らし、いいあした。

**Axial**  
RETAILING

**Axial**  
RETAILING